

東京・高尾山ケーブルカー 高尾山駅こだわりの商業施設「高尾山スミカ」 (旧・「香住」) リニューアルオープン



高尾登山電鉄株式会社（本社：東京都八王子市、社長：船江栄次）では、4月1日、高尾山ケーブルカー山上側「高尾山駅」に隣接する商業施設「高尾山スミカ」（旧・「香住」）をリニューアルオープンいたします。

昭和53年以来、天狗焼やそば処で賑わってきた「香住」は、耐震健全度の向上のため、昨年5月から一部を仮設店舗に移し大規模改修を実施、このほど完了し下記のとおり営業を再開いたします。

建物については、成瀬・猪熊建築設計事務所の成瀬友梨氏、猪熊純氏を中心に、またサイン、オブジェについては、デザイン会社ボートの飯高健人氏、グランパの石井伶氏、渡辺紘平氏、野田洋平氏、小林利行氏らが担当。商品群も一新し、**新しい発信基地が高尾山に誕生**いたします。



<全体パース>

<お土産処・内装>

1. 建物施設概要

所在：東京都八王子市高尾町 2181 番地（高尾登山電鉄 高尾山駅隣接）
規模：S造・地上2階建て（延床面積 357.45 m²・108.13 坪）

2. 建設関連会社

リノベーション計画 コンサルティング	株式会社リビタ（本社：東京都目黒区、社長：都村智史）
設計・監理	株式会社成瀬・猪熊建築設計事務所 （本社：東京都杉並区、代表：成瀬友梨）
耐震診断・構造計算	ビーチサイドスタジオ株式会社 （本社：東京都港区、社長：北嶋健樹）
施工	京王建設株式会社（本社：東京都府中市、社長：狩野俊昭）

3. コンセプトとキャラクター

コンセプトデザイン 株式会社ボート（本社：東京都大田区、代表：飯高健人）
株式会社グランパ（本社：東京都目黒区、代表：石井伶）

コンセプト（施設）高尾の山は幾千の生き物が宿る場所、そこを訪れる
人々と生き物が行きかう山のターミナル

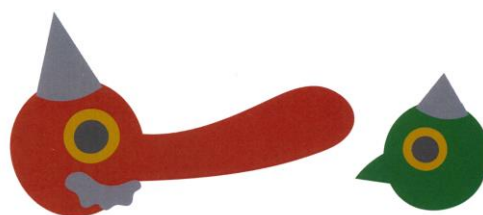
（商品）八王子や地元こだわった産品を高尾山から世界へ発信

ネーミング：長らく「香住（かすみ）」の名で親しまれてきた余韻を引き継ぎ
天狗を含む幾千の生き物が棲む処（＝すみか）と名付ける

「高尾山スミカ」ロゴ



オリジナルキャラクター『「てん」と「ぐー」』



4. 店舗と商品の特徴

（1）高尾山名物「天狗焼」

高尾山を代表する焼き菓子。甘さ控えめの北海道産黒豆あんは美味！
繁忙期には行列必至

（2）天狗屋のチーズタルト

株式会社オーバン（本社：東京都板橋区、社長：牧野泰己）が受託する洋菓子店
北海道産のチーズをたっぷり使用した風味豊かなタルト。
新規店舗では季節のタルトも新発売

（3）お土産処

今回、商品構成を一新。新しい商品は

- ①「高尾登山電鉄オリジナルグッズ」ケーブルカー、リフトなどをモチーフに
新しいキャラクターを開発。
第一弾として、Tシャツ、マグカップ、
ピンバッジ、ランチバッグ、くつぱら
ミニハンカチなど 29 種を新発売



制作

株式会社京王アートマン

（本社：東京都多摩市、社長：小澤孝雄）
ココロジック株式会社

②「高尾山スミカ」オリジナルキャラクター

『「てん」と「ぐー」』『高尾山百穂図（行燈グラフィック）』グッズ
てぬぐい、ポストカード、クリアファイル

③「お薬湯のみ」 大本山高尾山薬王院御本尊飯繩大権現のご加護を授かっていた

だけるよう、お護摩修行の灰を釉薬に混ぜて焼成。
販売にあたり、ご本堂で当病平愈、諸願成就の御
祈祷をいただいた掌に納まる小さめのお湯のみを
新たに販売いたします



制作

八王子市恩方在住の陶芸家岩瀬健一氏

同氏の略歴 日本工芸会正会員

松井康成、辻清明、辻協に師事

お土産処では、お薬湯のみ以外の販売も予定
また蕎麦処の器の一部を今回制作いただいたほか
カフェの抹茶椀も同氏の作品です。

④「多摩織小物」かつて「桑都（そうと）」と呼ばれた八王子。市北部高月の澤井



多摩織の
ペンケースと
ブックカバー



織物工場の故澤井榮一郎氏は手間のかかる多摩織
を残そうと奮起、1980年「紬織」「お召し織」「風
通織」「変わり綴」「捩り織」の5種で伝統工芸品
に指定されました。今はご子息伸氏が引き継ぎ
伝統だけでない斬新な織物にも挑戦、最近では
Google社への協力でウェアラブルデバイスを研究
中。なお2階吹き抜けの大行燈を制作いただきました

八王子市高月の澤井織物工場4代目 澤井伸氏

同氏の略歴 東京都・経産省認定伝統工芸士

2016年東京マイスター認定

お土産処では、ペンケース、ブックカバー、印鑑ケースなどの小物を販売予定

(4) 蕎麦処

株式会社レストラン京王（本社：東京都府中市、社長：高山恒明）が京王線つづ
じヶ丘駅、西武線保谷駅で展開する万葉そばのノウハウに加え、独自のそば粉な
どでより従前より上質な蕎麦店に生まれ変わります。



特徴 北海道産蕎麦 100%使用

システムワン社そば打ち機で打ち立て

二八そばを提供

お酒は多摩の地酒（福生石川酒造、福生田村酒造場、
あきる野中村酒造、青梅小澤酒造）をご提供

あて（つまみ）は、

○八王子産米 100%の清酒「高尾の天狗」の酒粕を使ったわさび漬（新商品）

○八王子市の姉妹都市日光の東照宮御用達ゆば

○八王子市の姉妹都市苫小牧の大豆を使用した八王子一丁庵の豆腐 などをご用意しました

（5）都道側外売店

三福だんご（「大福」「幸福」「裕福」）は炭火で焼いた、ボリュームたっぷりのだんごに特製くるみ味噌を塗ったもの。

生ビールは、ガラスジョッキで「サッポロエビスビール」をご提供いたします

（6）「SUMIKA TABLE」（スミカテーブル）と名のCAFÉを建物2階に新規開業

メニュー例）12種のひき肉や彩り野菜をじっくりオーブンで焼いたミートローフ
鶏肉の木こり風鉄焼き

具材たっぷり海鮮ピラフ、キノコたっぷり山のピラフ

コーヒーは、八王子を代表するスペシャリティコーヒー専門店、

「カザーナ・コーヒー」（東京都八王子市、代表・栗原崇）が開発した「Mt. TAKAO Blend」。最新のマシンで、ハンドドリップに近い味をお楽しみいただけます。



5. 建物施設（オブジェなど）

（1）屋上・多摩産材、天狗のすみか『浮いてんぐ』



屋上展望台に立つモニュメント。天狗のうちわやつでをモチーフに、多摩産材で製作。一本下駄に乗れば気分は天狗。遠く都心のビル群、東京湾、房総の山々が望めますぜひ、記念写真のスポットとして

（2）カフェエントランスの和紙作品

和紙作家、堀木エリ子氏の作品が2階カフェ「SUMIKA TABLE」のエントランスに3月27日設置されます。

作品写真は設置後弊社ホームページ等でご紹介させていただきます

堀木エリ子氏紹介 2000年(株)堀木エリ子&アソシエイツを設立
建築空間に生きる和紙造形の創造をテーマに 2700×2100mm
を基本サイズとしたオリジナル和紙を制作
近年の作品は、「東京ミッドタウン日比谷」、「パシフィコ横浜」
、「成田国際空港第一ターミナル」などに設置されている

(3) 多摩織の大型行燈『高尾山百棲図』



2階カフェへの吹き抜けに、高尾に棲む様々な生命が描かれた行燈が、吊るされています。
本施設のコンセプトである、人々と生き物が行きかう山のターミナルの象徴として、
株式会社ボートのデザイナー飯高健人氏と株式会社グランパの石井伶氏を中心にデザインされたものです。
絵の中に隠れる生き物たちをぜひ探してみてください。
制作は 多摩織物工場 澤井伸氏によります

以 上

〔参考・沿革〕

- 1949 (昭和 24) 年 10 月 戦後ケーブルカー運行再開
- 1954 (昭和 29) 年 8 月 今回敷地に「レストラン高尾」開業
(高尾観光株式会社が営業にあたる洋食店)
- 1961 (昭和 36) 年 8 月 高尾登山電鉄(株)直営に
(そばに変更、土産物コーナーも設置)
- 1978 (昭和 53) 年 4 月 リニューアルでそばの立ち食いコーナーや土産物店の開放店
化を実施 (店名を「そば処・香住」に)

このニュースに関するお問合せは、
高尾登山電鉄 TEL. 042-661-4151 までお願いいたします。